

キャラクター名
西条 月渚(さいじょう るな)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス オルクス	ワークス	UGN支部長C	カヴァー	座長
オプション	エグザイル	年齢	22	性別	女性
覚醒	探求	衝動	加虐	初期侵食率	39 %
出自	政治権力	経験	平凡への反発	邂逅	知り合い

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1	0	0			1	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	3	1	0			4	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	3		交渉		
回避			知覚			意志	3		調達	6	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリスタルシールド	白兵	1r-1	12	0		他の武器を装備できない。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
鷺乃宮家特殊メイド服		7	0	-1	通常効果:カバリングを行った場合、防具の装甲値を「20」に変更してダメージを計算する。RCCカバリング時にバッドステータスを発けない。

所持品	
ウェポンケース	
マスターズコネクション	
ミーミルの覚書	

合計装甲: 7 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
秘密兵器	P	N		
探査者	P 同情	N 脅威		
鷺ノ宮キョウ	P 感服	N 食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 16 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
崩れずの群れ	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: カバリングエフェクト。1メインプロセス1回								
命のカーテン	2	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果: カバリングの距離を10mにする。シナリオLv回。								
妖精の手	2	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定のダイス1つを10にする。シナリオLv回。								
背徳の理	2	3	オート			自動	-	
効果: オーヴァードに1点でもHPダメージを与えた時に使用する。シーン中、ウロボロスのエフェクトの判定を+「Lv*2」個する。								
尾を喰らう蛇	1	4	セットアップ			自動	-	
効果: 1Dのダメージを受けて「オーヴァードに1点でもHPダメージを与えた時に使用する」エフェクトを使用する。								
RF:ウロボロス	2	2	リアクション	-	-	-	-	
効果: C値-Lv(下限7)								
原初の紫【氷壁】	1	5+1	オート	至近	自動	効果参照	-	
効果: 「タイミングリアクション」のエフェクトと組み合わせ可能。「射程:視界」に存在するキャラクターが攻撃の判定を行った直後に使用する。その達成値を難易度として判定、成功した場合その攻撃は失敗となる。未行動でのみ使用でき、使用後は行動済みになる。								
イーザーフェイカー【裸の王様】	5		常時					
効果:								
影絵芝居	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「幕が上がれば私の世界。最高のショーを約束しよう」

UGN支部長であり劇団「G.G.G」の座長にして脚本家。GGGはそれぞれグレイテスト・グローリー・ギャラクシーの意。まるで台詞回しのような口調で言葉を紡ぎ、騒うように会話をする大変胡散臭い人物。支部内に劇団を作り上げており、所属するUGN職員はもれなく劇団に所属させられ彼女の描く物語の配役として舞台上上がるハメになる(拒否すると裏方に回される)。気ままに自信家な側面こそあれど、自分の部下一人一人を大切な役者として丁寧に扱っている。

かつては世界を巡り、様々な舞台での公演に参加していた経歴を持つ生粋のエンターテイナー。オーヴァードの存在を知った後、その力に魅せられて自ら望んで感染、シンドロームに目覚めたという変わり者でもある。その力は自らのショーにも活かされ、エキストラ及び裏方を用意するのみならず、舞台での演出にも取り入れられる。そうして作り上げたステージは自身の全てであり、絶対の自信と誇りを持った作品なのである。UGNに所属しているのは成り行きであるが、エンターテインメントを観客に楽しんでほしいという強い願いが根本にありそれを壊すFHやジャームには強い嫌悪と憤りを抱いている。

日本UGNの指針にはおおむね同意しているものの、「物語の終わりは劇的であるべきだ」という考えが強いためジャームを冷凍保存するやり方にはいささか疑問を抱いている。

鷺乃宮家とは父親を通して知り合い、各国へ旅をする際に色々と手を借りた。劇団のスポンサーでもあるが、本人はやや苦手と感じている。提供されたメイド服は自分用に改造されたオンリーワンである。